

令和7年度 学童クラブ待機児童対策計画

区市町村名

稲城市

令和7年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

141人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

稲城市では現在5箇所です地区画整理事業を行っており、造成工事が進展中である。特に山間部については、事業の進捗に伴い新たな宅地が供給されるため、地域人口（児童）が純増し、待機児童の増加要因となっている。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

学童クラブの定員増及び市内全小学校で実施している放課後子ども教室の活用をもって待機児童削減を目指す。

(2) 具体策

①学童クラブの新設及び必要に応じて定員の弾力化を図ることで児童の受け入れ数を増やす。
②稲城市では市内全ての小学校で午後六時まで放課後子ども教室を実施し、おやつを提供を行うなどサービスの拡充に務めており、学童クラブ以外にも放課後の居場所があることを市民に広く周知する。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

①学童クラブの定員数を増やすことで待機児童を減少させる。
②各家庭の状況に応じたサービス選択ができるよう案内することで、適切な学童クラブの利用を推進する。

4 これまでの推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生児童数	5276	5295	5437
増減	-	19	142
登録児童数	930	938	1016
増減	-	8	78
待機児童数	28	81	140
増減	-	53	59

5 今後の見込

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	累計
小学生児童数	5316	5344	5221	5118	
増減	(121)	28	(123)	(103)	
申込児童数	1151	1018	981	932	
増減	-	(133)	(37)	(49)	
登録児童数	1010	1006	981	932	
増減	-6	-4	(25)	-49	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	放課後子ども教室への利用誘導	・学童クラブの新設 ・放課後子ども教室への利用誘導	・学童クラブの新設 ・必要に応じて学童クラブの定員弾力化 ・放課後子ども教室への利用誘導	放課後子ども教室への利用誘導	
待機児童数	141	12	0	0	
増減	1	(129)	(12)	0	(140)